【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン
対象	がん薬物療法薬の血管外漏出による潰瘍病変を認めた患者
介入	潰瘍病変ができてすぐ（早期）のデブリードメント
対照	保存的治療

＊バイアスリスク，非直接性
各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率） 対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
皮膚潰瘍の治癒	症例集積/4	−1	−1	−1	−1	0	0	5	1	20	5	4	80		4	NA	1	1	4文献中1件、比較検討しているが、抗がん剤以外の薬剤も含まれる
皮膚潰瘍治療期間の短縮	症例集積/1	NA	NA	NA	−1	0	0	NA	NA	NA	40	NA	NA		NA	NA	0	1	細かい分析がされている文献が1件あり
手術後遺症	症例集積/2	NA	NA	NA	−1	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA		NA	NA	0	0	細かい分析がされている文献が1件あり
手術合併症	症例集積/3	NA	NA	NA	−1	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA		NA	NA	0	0	細かい分析がされている文献が1件あり

コメント（該当するセルに記入）